

# 海田南小学校 授業紹介 コーナー

(ここでは、海田南小学校の様々な先生達の授業の様子を随時紹介しています。)

6月 14日	第6学年1組	算数科	授業者( 隆杉 佳代 教諭 )
NO.7	参観者(校長・主幹・西村・今井・津田)		記入者 (校長 重森)

## 【1】 授業の概要

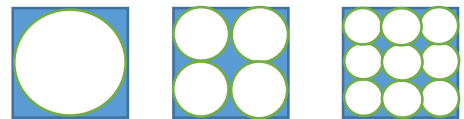
『同じ値段で売っているピザなんだけど、どれが一番お買い得かな？おしえて！』 隆杉先生は、一辺が60cmの正方形に内接する1つの円のピザ，4つの円のピザ，9つの円のピザを提示して、子供たちにたずねます。子供たちは、「まるごと1つの！」「やっぱり9つの！」「いや全部おんなじ！」といろいろ予想しました。隆杉先生は「①どれがお買い得か調べてください。②答えが出た人は、速く見つけられる方法を考えてみてください。」と言われました。算数は「は・か・せ」⇒「はやい」「かんたん」「せいかく」が大切です。子供たちは、どれも同じ面積であることを、計算のきまりを使って速く計算できる方法を考えて説明していました。



## 【2】 授業の素晴らしい点と学び

### ① 子供がわくわくする導入の工夫と 様々なねらいで学習できる教材の発掘

ピザの注文は、子供たちの実生活の中でもよくあることなので、イメージもわきやすく、子供たちはぐいぐい授業に引き込まれていました。また、先生に教えてあげたい（きっと先生は分かっているだろうけれど・・・でも教えてあげたい）という、先生と子供たちのあたたかい関係が見られました。また、この教材は、「計算の決まりをつかって速く計算する」こともねらえるし、「なぜ、全て同じ面積になるか考える」こともねらえるし、「同じ面積で これ以外のピザの入れ方を考える」こともねらえるし、授業後の協議会で、隆杉先生は、とてもまよって、今回は「計算のきまり」をねらったとっておられました。



### ② 直観力と論理的説明を大切にしている授業

算数は直観力をきたえることもできます。この直観力は、とても数学的に大切な力です。それは、自然に頭の中で量感を鍛えているのではないのでしょうか。隆杉先生は、授業の最初に「どれが一番お買い得？（面積が大きいでしょうか？）」と尋ねられました。こどもたちは、自分なりの理由を持ちながら、あれだ、これだと、考えていました。その後、算数という教科ですから、論理的な説明と数値をもって、納得していった子供たちでした。

### ③ グループで考えを確かめ深めあう授業

6年生ともなると、算数がめっぽう得意な児童、一方で算数に自信がない児童など、教科への興味差がでてきます。隆杉先生の授業は、どんな時も、グループで確認したり深めたりする時間をとられています。クラスの仲間づくりにもつながるこの活動では、子供たちは、みんな安心して笑顔で語り合います。「ああ、そういうことか。」「まって、もういっかい説明して。」集団で学習する良さをみごとに発揮している授業をされています。

授業の導入でひきこまれる子供たち



自分の考えを積極的に述べようとする姿



グループで協議して考えを確かめたり深めたり



まとめとふりかえりを大切に

